

第1回 京都エリア駐車場対策協議会 議 事 概 要

開 催 日：令和6年 6月27日（木）

時 間：13：00～14：00

場 所：京都国道事務所5F会議室

1. 協議会の設置について

- 事務局から協議会の設立趣意書および規約（案）について説明を行い、内容について了承が得られたため、協議会の設置が確認された。
- 会長には、京都大学大学院工学研究科 宇野 伸宏 教授が選任された。

2. 観光地周辺における現状課題について

- 事務局より、ETC2.0 プローブデータや AI 画像解析等を用いた交通状況等について説明を行い、観光地周辺で発生している交通課題等が確認された。
- 京都市建設局自転車政策推進室より、観光バス駐車場におけるこれまで取組み等が紹介された。
- 京都市産業観光局観光 MICE 推進室より、観光バス路上滞留対策における目的やこれまでの取組み等が紹介された。
 - 観光バスは和泉ナンバーが多く、関西空港から来ている可能性があることから、インバウンド客を乗せたバスへの対応をどのようにするか検討する必要がある。

3. 駐車場予約システムの構築・運営について

- 事務局より、駐車場予約システムの概要等について説明するとともに、システム事業者としてタイムズ24を選定したことを報告し、構築・運営にあたっての意見交換を行った。
- タイムズ24より、公募に対する提案内容について説明が行われた。
 - 予約システムは観光客自体を締め付ける恐れもあることから、公共交通機関など他の移動手段の情報も併せて提供する必要がある。
 - 京都の入洛手段は、公共交通機関の利用が最優先であり、やむを得ず車で来られる方はパークアンドライド、事前予約といった順で段階的に車を減らす必要がある。そのためには、国と府・市が連携して取り組むとともに、多くの民間事業者の協力を得ながら進める必要がある。
 - 予約システムがあることによって「車で来て良い」という誤解をされるといけないので、リコメンドする順を工夫しなければならない。
 - 観光目的の車のマネジメントには、予約システムに加え、パークアンドライドの推奨などを含めてパッケージ化する必要があることから、対策としての全体像も議論していきたい。
 - 既存のバス予約システムとの調整について、システム事業者も含めて調整する必要がある。
 - 観光バスの離合に関しては、予約時間を調整すれば入出庫のタイミングをコントロールできるかもしれないので、そのあたりも含めて予約システムを検討して頂きたい。
 - 多くの観光客に予約システムを利用してもらうためには、情報提供の内容や情報の届け方について検討する必要がある。
 - 予約システム自体の有効性を高めるためには、予約への動機付けをどのようにするか検討する必要がある。

4. 今後の進め方について

- 事務局より、今後のスケジュールや評価指標の設定（案）について説明し、今後進めるにあたっての意見交換を行った。
 - 予約システムを含む駐車マネジメントの情報発信の仕方については、京都エリア観光渋滞対策実験協議会で様々な工夫がなされてきたので、そこで得られた知見も活用して頂きたい。
 - 評価指標としてホームページにアクセスした人の何%が予約したか等、ホームページのアクセスログ等のデータを取得して評価してはどうか。
 - 利用者アンケートでは、予約システムの操作性や分かりやすさの他、どのような条件であれば予約するのか等、利用者の意向や動向等も把握する必要がある。
 - 実際に事前予約を利用した人だけでなく、ウェブサイトを閲覧した人に対して意見収集する機会も必要である。
 - オーバーツーリズムは予約システムだけで解決する訳ではなく、これまでの取組みや他の施策が一体となって進めていく必要があるので、関係者間の密なる情報共有や協力をお願いしたい。
 - 民間の駐車場事業者の協力を得るための調整や議論等が諸々と発生すると思うが、非常にタイトなスケジュールとなっているので、京都市をはじめ各関係機関が連携して進めて頂きたい。
 - 京都市の清水坂観光駐車場の対策は、現在、検討が進んでおり、対策が始まる。国の予約システムと被る部分があり、タイトなスケジュールとのことであるが、密に情報共有・協議をお願いしたい。